

皆野長瀨ロータリークラブ

週報

- ◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
- ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
- ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
- ◇点 鐘 宮前 英雄会長
- ◇ソング 奉仕の理想



人類に奉仕するロータリー

第1377回例会 平成28年10月9日(日)

棕神社例大祭 龍勢まつり

棕神社由緒

日本武尊当地赤柴にて道に迷われた折、お持ちになった銚子の先から一条の光が走り、その方向に大きな棕の木が立ち、根方の泉近くに猿田彦大神が立たれ、赤井坂に導かれる。これにより大勝を得られたので、尊は喜ばれて井泉の辺に銚子を神体として猿田彦大神を祀り給うた。これを当社の創めとする。銚子より光の出た所を光明場（あかしば）という。

- 和銅 3年 芦田宿禰守社殿を造営したのが始まりという。
- 貞観 13年 従五位を賜る。
- 延喜年間 延喜式神名帳に秩父郡二座、秩父神社、棕神社（国幣小社）と誌される。
- 天正 3年 戦国時代の兵火を受けて焼失した社殿を鉢形城主北条氏邦によって再建。祭具、木魚二本と共に氏邦着用筋兜を奉納される。
- 慶長 9年 江戸城築城の用材として境内の檜の大木36本を送る。棕神社神主、神田明神の鍵番を徳川家康に仰せつかる。
- 明治 6年 棕神社、村社に列せられる。
- 明治 9年 吉田東、日、阿熊学校を統合し境内に校舎建設、棕宮学校とする。
- 明治 15年 棕神社、県社に昇格する。
- 明治 17年 秩父事件勃発、棕神社に困民党終結す。



